

個人山行

丹沢：大野山

- ◆日程 2020年3月20日（金、春分の日）
- ◆メンバー L：大塚、他3名
- ◆天候 快晴

骨折してから9週となった先週の曾我丘陵を皮切りにリハビリハイキングを開始、今回は2回目。久々の丹沢、昨年 of 新年山行以来の大野山だ。とにかく無理せずのんびり、山道の感触を左足に思い出させるのが目的だが、会社の同僚が付き合ってくれた。彼らとは2年ぶりの山行。いろいろと久しぶり尽くした。

谷峨駅に降り立った人はまばらで、大野山に向かうパーティーは他に2組だけ。人込みを避けるために敢えて早出に設定した目論見通りだ。一方、僕らを追い抜いて行った西丹行のバスは満員。もしかしたら菰釣山に向かう山の会のメンバーも乗っていたかも。

左膝の皿の骨は繋がったが、支える筋は脆弱だ、痛みを感じない程度に負荷を調整しながらゆっくりと歩く。体が温まった頃に上りが始まる。整備された階段で歩き易い。雑談しつつなので退屈もしない。次第にススキ野原に入り視界が開けた。スカイツリーの高さの標識付近に来ると快晴に生える箱根、愛鷹山、富士山がくっきり見える。山頂の眺めが楽しみだ。ゆっくりと眺めを楽しみながら山頂に到着。ミツマタが満開だ。去年の新年山行では凍える寒さの中に牧場が雲海の島のようにポツンと浮かんで見えるだけだった。それはそれで幻想的だが、今回は丹沢の山々が三国山、菰釣山、大室山、蛭ヶ岳、丹沢山、大山といった具合に端から端までくっきり見える。眺望好きな自分にはたまらない。彼方のあの山は何だろう、今度はあれを目指そう。どんなルートがあるかな。といった具合に思いを巡らせるのが好きだ。

最高の天気と眺めの中で、早めの昼食と食後のエスプレッソ。そうこうするうちに気が付くと周りがにぎやかになってきた。後続のパーティーやファミリーがレジャーシートを広げてピクニックをしている。焼き肉のようないい匂いもしてきた。これを潮時にと、山頂を後にした。

牧場では三頭のジャージー牛が草を食んでいる。山北駅近くにここの牛乳で作ったソフトクリームが食べられるらしい。下山後の楽しみが出来た。だが、ここからはまっすぐな長い下り階段だ。油断できない。普通に降りようとするとう膝の皿の下側（脛との接続部分）が痛む。太腿の踏ん張り具合を調整しながらゆっくりと降りていく。その後の傾斜は比較的緩い。膝への負担は小さく済み、ホッとした。

最後に山北駅近くのカフェで前述のアイスを頂いた。御殿場線沿いの開花したての桜並木に面したテラス席だ。オーダーしたのは季節限定の桜シロップが載ったソフトクリームだが、プレーンでも美味しいのでお勧め。

今回は、つい先へ進もうとする自分では味わえない新鮮な感覚を味わえた。こういうのも楽しい。付き合ってくれた仲間感謝。・・・会の山行への復帰も待ち遠しい。（記：大塚）

CT：谷峨駅 7:45 - 頼朝桜 8:35/8:45 - 大野山 10:00/11:40 - 共和小学校 13:10 -
山北駅 14:35

